

01

ChatGPTとは？

ここで学ぶこと

- ・ ChatGPT
- ・ 対話型AI
- ・ 文章生成

「ChatGPT」は、2022年11月にリリースされた対話型のAIツールです。質問に対する自然な回答の生成により世界中で大きな評判を集め、個人や企業、あらゆる分野で活用されています。

1 ChatGPTとは



解説

OpenAI

「OpenAI」は、AIの開発を行うアメリカの企業です。文章生成AIの「ChatGPT」のほかに、画像生成AIの「DALL-E」シリーズなどを提供しています。現CEOのサム・アルトマン氏とX(旧Twitter)などを経営するイーロン・マスク氏らによって、2015年に創設されました。



重要用語

言語モデル

「言語モデル」は、言語の構造や文法、単語の出現パターンなどを学習したコンピュータプログラムです(16ページ参照)。与えられた文脈の中で次に来る単語や文章を予測することができます。

「ChatGPT」は、OpenAIが開発・提供する対話型のAIツールです。ChatGPTとチャット形式の会話を行うだけのかんたんな操作で、入力した文章に対して回答させることができます。

ChatGPTは、インターネット上や書籍などの膨大なテキストデータを学習した言語モデルにより、自然かつ的確な文章生成を可能としています。その性能は単なる会話にとどまらず、さまざまなタスクにも活用できます。

2022年11月にChatGPTが公開されると、文章生成のクオリティの高さや無料で利用できることなどから、世界中で大きな注目を集めました。公開からわずか5日で全世界で100万人以上のユーザーを獲得し、2か月後には1億人以上の月間アクティブユーザー(一定期間内にChatGPTを利用したユーザー)を記録しました。ChatGPTは個人利用にとどまらず、企業や自治体にも広く導入され、社会全体での活用が定着しつつあります。関心の広がりも続いており、さらなる活用の可能性が注目されています。

ChatGPTは対話型のAIツール



2 Web 検索と対話型 AI の違い



補足

Web 検索 (検索エンジン) の進化

近年、Googleの「Gemini」やMicrosoft Bingの「Copilot」など、対話型AIの機能が搭載された検索エンジンも増えていきます。また、Googleの検索結果の最上部には、生成AIを活用した「AIによる概要」が表示されるようになりました。今後はWeb検索と対話型AIの境目がさらに近付くことが予想されます。

調べものをするとき、GoogleやYahoo!などのWeb検索(検索エンジン)を使う人も多いでしょう。両者の違いを確認して、目的に応じて使い分けることをおすすめします。

▶ 結果の形式

Web検索は、入力したキーワードに関連するWebページを一覧で表示し、利用者がその中から必要な情報を探し出すしくみです。一方、ChatGPTのような対話型AIは、あらかじめ学習した膨大なデータをもとに、質問に対して文章で直接答えを返します。

▶ 情報の取捨選択

Web検索では、「どの情報を信頼するか」「どのページを参考にするか」を自分で取捨選択する必要があります。一方、対話型AIでは一度の入力で整理された答えや要点がまとめて提示されるため、情報収集やアイデアの整理を短時間で済ませます。

▶ 情報の鮮度

Web検索は、最新の情報をリアルタイムで取得しやすい特長があります。しかし、対話型AIは学習時点までのデータに基づいて回答するため、内容が最新ではない場合があります。

▶ 回答の客観性と多様性

Web検索は、複数の情報源を比較できるため、さまざまな視点や意見を比較しながら情報を得られます。一方で、対話型AIは一度の回答で情報を整理して提示しますが、そのまとめ方や強調点はAIの学習や生成のしくみに依存します。

Web 検索

- ・ キーワードに関連するページが一覧で表示される
- ・ 情報を自分で取捨選択する
- ・ 多様な出典や意見が混在する
- ・ 常に最新のWebページを参照できる

対話型 AI

- ・ 入力に対して文章で直接回答される
- ・ 要点を整理して提示される
- ・ 会話形式で情報を深掘りしやすい
- ・ 学習している情報が最新ではない場合がある
- ・ 情報の整理や視点はAIの学習や生成のしくみに左右される

14

新しいトピックを質問するときは チャットルームを切り替えよう

ここで学ぶこと

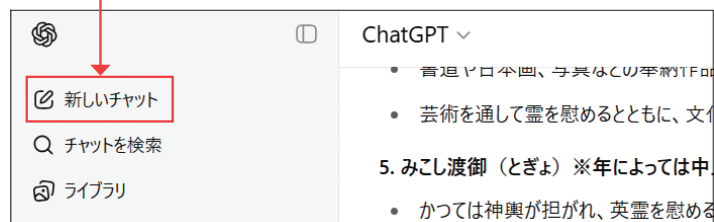
- ・チャットルーム
- ・切り替え
- ・やり取り再開

これまでと別のトピックについて質問したい場合は、新規にチャットルームを作成してやり取りしましょう。なお、過去のやり取りに戻りたい場合は、サイドバーから該当するチャットルームを選択することで再開できます。

1 新規チャットルームを作成する

チャットルーム内で会話を続けていると、これまでのやり取りの内容を前提とした回答が生成されるため(34ページ参照)、別の話題に移っても、過去のやり取りが回答に影響することがあります。新しいチャットルームを作成すると、過去のやり取りを引き継がずに、ゼロから会話を始めることができます。

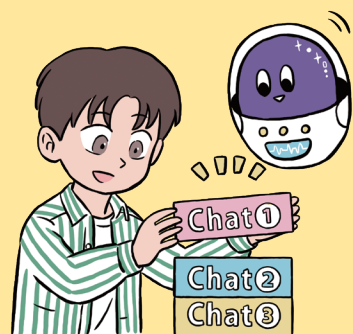
1 [新しいチャット]をクリックすると、



2 新規のチャットルームが作成されます。



3 プロンプトを入力・送信して新しいやり取りを開始します。



2 前のチャットルームのやり取りを再開する



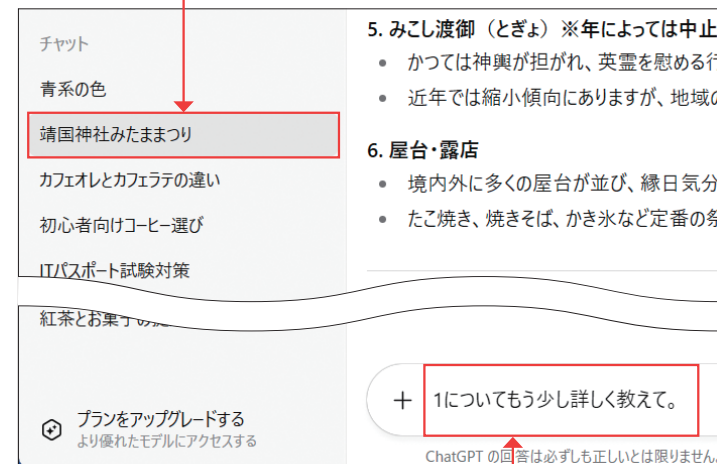
補足

過去の会話の情報を参照して
回答できる

ChatGPTは、過去の会話やユーザーが入力した情報を記憶し、それを参照して次のやり取りに反映させることができます。これにより、毎回説明を繰り返す必要がなくなります。もともとの機能は有料プランのみに搭載されていましたが、現在では無料プランでも最近のチャット履歴であれば参照できるようになりました。なお、どのくらい前までの会話を記憶、参照できるかは公表されていません。

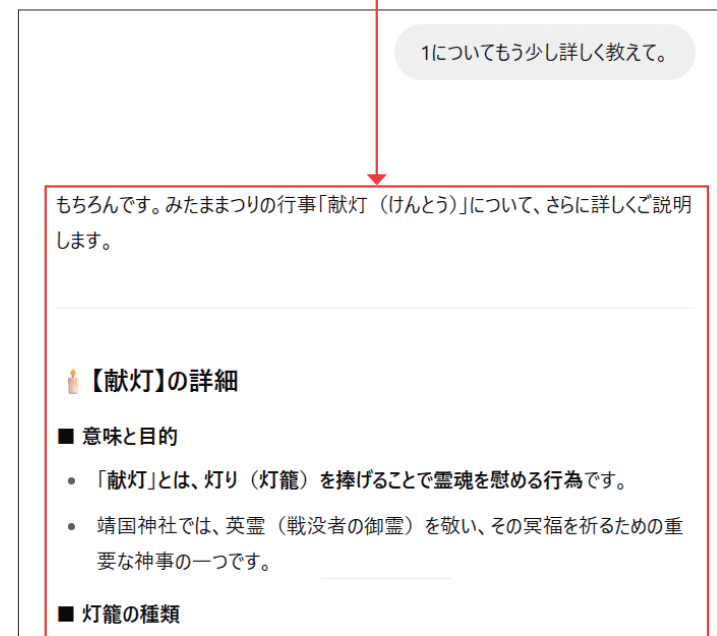
過去に会話したチャットルームに戻って、やり取りを再開することができます。

1 画面左側に表示されているサイドバーの上部から、やり取りを再開したいチャットルームをクリックします。



2 プロンプトを入力・送信して質問を開始します。

3 やり取りが再開され、前の会話の流れに沿った回答が生成されます。



26

箇条書きのメモを
文章にまとめてもらう

活用シーンとできること

- ・ビジネス
- ・箇条書き
- ・メモ

箇条書きのメモと一緒に「文章にまとめて」といったプロンプトを送ると、メモが自然な文章にまとめられます。会議やミーティングの記録をまとめる際に役立ちます。

1 箇条書きのメモを文章にまとめてもらう



ヒント

よりわかりやすい文章にする

メモから文章にまとめてもらう際に、「〇〇という分野を中心に」「〇〇という単語の解説もあわせて」といった具体的な指示を送ることで、よりわかりやすい文章にできます。

会議やミーティングでは話し合った内容を箇条書きなどメモの形で残すことが多いですが、会議のあとでメモから文章にまとめる際に手間がかかってしまいます。時間がないときは、ChatGPTに箇条書きのメモと一緒に「文章にまとめて」といったプロンプトを送りましょう。メモの内容が自然な文章となるため、会議内容を報告するときやミーティング内容を共有するときなどに活用できます。

以下のメモは会議の内容を箇条書きにしたものです。
文章にまとめて。

- ・開催日
2025年7月14日（月）
- ・内容
前回の会議の振り返り
今回の会議の目的と期待値の共有
プロジェクト進捗報告
チームの評価

以下のように文章としてまとめられます。

2025年7月14日（月）に会議が開催されました。
会議では、まず前回の会議の内容を振り返り、今回の会議の目的や期待される成果について共有が行われました。続いて、各担当からプロジェクトの進捗状況が報告され、最後にチーム全体の評価について話し合われました。



2 文章を箇条書きにしてもらう



補足

箇条書きにもらったあと

ChatGPTは同一のチャットルームでのやり取りが記憶されているため、一度「箇条書きにして」と送ると、そのあとのやり取りも箇条書きのままになることがあります。箇条書きをやめたい場合は、「文章で説明して」といったプロンプトを送る、新規チャットルームを作成する（40ページ参照）といった対応をしてください。

文章の内容が難しい、文章が長いといった場合は、箇条書きのほうが理解しやすいことがあります。わかりにくい文章がある場合は、その文章と一緒に「箇条書きにまとめて」といったプロンプトを送ります。また、ChatGPTに情報を出力してもらっている際にも文章が長いと感じた場合は、「箇条書きにして」といったプロンプトを送ることで、箇条書きにしたうえで情報を提供してもらうことができるようになります。

以下の文章を箇条書きにして。

本日の会議では、プロジェクトの進捗状況が共有され、全体的には計画通りに進んでいるものの、一部に遅れが見られるため追加リソースの調整を行うことが決まりました。次回マイルストーンについては、来週中に詳細を検討し、再度確認することになりました。また、新しい業務フローを試験運用したうえで採用を判断する方針が確認された。

以下のように箇条書きに整理できます。

- ・プロジェクトの進捗状況が共有された
- ・全体的には計画通りに進行中だが、一部に遅れがある
- ・遅れに対応するため、追加リソースの調整を行うことが決定された
- ・次回マイルストーンの詳細は来週中に検討・確認することになった
- ・新しい業務フローは試験運用後に採用を判断する方針が確認された

次の会議までに準備すべきものを箇条書きにして。

次の会議までに準備すべきものは、以下のように整理できます。

- ・議題の整理と共有
- ・会議資料の作成（進捗報告書、業務フロー案、マイルストーン案など）
- ・前回会議の議事録の確認・配布
- ・追加リソース調整の進捗状況の報告準備
- ・新しい業務フローの試験運用結果のまとめ
- ・次回マイルストーンの詳細案の作成
- ・出席者のスケジュール確認と会議日程の確定
- ・会議室の予約（対面の場合）またはオンライン会議のURL準備

箇条書きを再度わかりやすい文章に組み立て直してもらうこともできます。



Section

41

自分で作った文章の誤字や脱字を修正してもらおう

活用シーンとできること

- ・ビジネス
- ・文章の修正
- ・誤字脱字

読みやすい文章を作るためには、添削や校正が欠かせません。一般的には第三者のチェックや専用ツールに頼りますが、時間やコストがかかってしまいます。ChatGPTは、スピーディーに誤字や脱字の修正を行います。

1 誤字や脱字などを修正してもらおう



注意

ChatGPTの性能は完璧ではない

ChatGPTの校正の能力は完璧ではありません。ときにはミスを見落とすこともあるため、最終的には人間のチェックが必須です。

エッセイ、企画書、メールなどでは、プロフェッショナルな文章が求められます。誤字や脱字があると、読み手を混乱させてしまうだけでなく、自身への印象が悪くなってしまう可能性もあります。

ChatGPTは、正確な文章を作成するための添削や修正にも役立ちます。自分で作成した文章とあわせて、「誤字脱字を見つけて修正してほしい」と指示してみましょう。

以下の文章で誤字脱字があれば修正して。

近年、「推し活」と呼ばれる行動が若者が中心に広がっており、経済活動へのえいきょうが注目されている。アイドルやアニメキャラクターに対する主出は、コンサートやグッズ購入にとどまらず、カフェとのコラボや交通広告など多方面にわたっている。とくにSNSの広がりによって、ファン同士の交流や情報発信が活発になり、さらなる消費を生み出している。推しへの愛情が経済を動かすという現象は、従来のマーケティングではカイモク予想できなかったことである。

以下のように誤字脱字を修正しました。

近年、「推し活」と呼ばれる行動が若者を中心に広がっており、経済活動への影響が注目されている。アイドルやアニメキャラクターに対する支出は、コンサートやグッズ購入にとどまらず、カフェとのコラボや交通広告など多方面にわたっている。とくにSNSの広がりによって、ファン同士の交流や情報発信が活発になり、さらなる消費を生み出している。推しへの愛情が経済を動かすという現象は、従来のマーケティングでは皆目予想できなかったことである。

2 修正箇所を指摘してもらおう

ただ修正してもらうのではなく、具体的にどの部分がおかしいのかも指摘してもらえると、自分では気が付かなかったミスを発見できるかもしれません。また、はじめに「なぜその修正が必要なのかの説明も入れて」と指示するパターンもあります。

どこが修正されたのかわからないので、該当箇所をすべて指摘して。

修正した箇所は以下の通りです。

1. 「えいきょう」→「影響」
2. 「主出」→「支出」
3. 「カイモク」→「皆目」
4. 「～と呼ばれる行動が若者が中心に広がっており」→「～と呼ばれる行動が若者を中心に広がっており」

※4は、文法的に自然になるよう「を」を「が」に変更しました。

以下の文章の中から、誤字・脱字・不自然な表現をすべて指摘して。
「なぜその修正が必要なのか」もあわせて説明がほしい。

近年、「推し活」と呼ばれる行動が若者が中心に広がっており、経済活動への影響が注目されている。

以下、誤字・脱字・不自然な表現と、その修正理由をまとめます。

1. 「えいきょう」
→ 修正案「影響」
理由：ひらがな表記の「えいきょう」はやや読みづらく、文章全体が堅めのため、漢字の「影響」にすることで読みやすく、正式な文書としての体裁が整います。
2. 「主出」
→ 修正案「支出」
理由：「主出」は誤字です。「支出」が正しい表現で、費用やお金を使う意味を表します。文脈的にも「支出」が適切です。



62

スマートフォンで
ChatGPTを使ってみよう

ここで学ぶこと

- ・スマートフォン
- ・ログイン
- ・チャット

iPhone、Androidでも ChatGPT が利用できます。パソコンで作成した ChatGPT のアカウントでスマートフォンアプリにログインし、手軽に ChatGPT を楽しみましょう。

1 ChatGPTのアプリにログインする



補足

アプリをインストールする

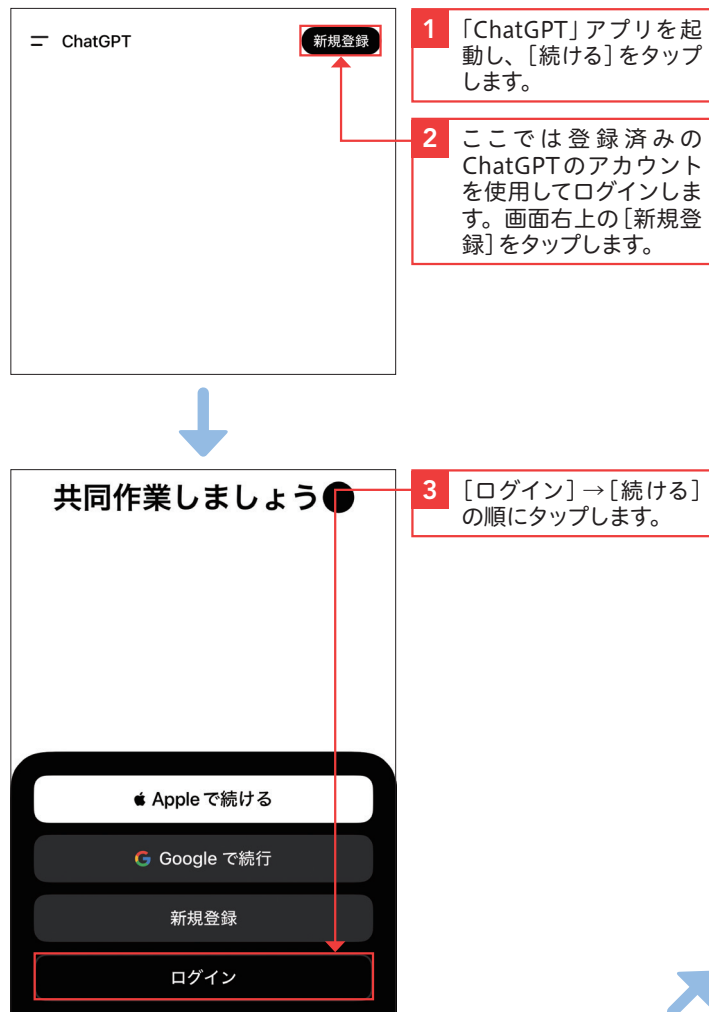
「ChatGPT」アプリのインストールは、iPhoneとAndroidで手順が異なります。iPhoneはApp Storeから、AndroidはPlayストアからインストールします。



補足

ChatGPTのアカウントを作成する

スマートフォンで ChatGPT のアカウントを作成する場合は、Apple Account、Google アカウント、メールアドレスのいずれかの情報を使用します。手順 3 の画面で利用するアカウントをタップし、画面の指示に従ってアカウントを作成しましょう。



補足

外部サービスのアカウントや
電話番号を使用してログインする

Google アカウント、Microsoft アカウント、Apple Account、電話番号のいずれかの情報を使用して ChatGPT のアカウントを作成した場合、手順 4 の画面下部のいずれかをタップし、画面の指示に従ってログインしましょう。



補足

パスワードを忘れた場合

ChatGPT のアカウントのパスワードを忘れた場合、手順 6 の画面で「パスワードをお忘れですか?」をタップします。登録したメールアドレスにパスワードをリセットする一時検証コードが送信されるので、ログイン後にパスワードを変更しましょう。

